

2016-04-28 講義資料

アンケートより、前回講義に関する感想・疑問点・要望など

1. ホブスンの『帝国主義論』の1934-35年の植民地人口の統計で、英国が4億を超える人を従属させていたことに非常に驚きました。インドが大部分を占めたのでしょうか？ 調べてみたい。・・・貴重な問題意識です。統計参照
2. ホブスンの『帝国主義論』の話をもう少し詳しく・・・
3. スペインの内戦に関して、共産主義派とどこが争っていたのか、聞き逃してしまいました。
4. スペイン内戦においてフランコ将軍陣営は、内戦中、ナチやムッソリーニらなどのファシスト勢力から援助を受けていましたが、大戦後、そのことについて非難や制裁のようなものはあったのでしょうか？
5. 「ボタン穴から見た戦争」(の紹介)を聞いているのはとても辛かった・・・  
生々しすぎて怖いと思いました・・・紹介していただいた本を読んでみよう・・・
6. 一つの戦争から難民が生まれ、難民のまま戦争に巻き込まれていく過程はとてもややこしい・・・
7. ヨーロッパ地域は当たり前のことであるが陸続きとなっているので、植民地や領土問題が本当に多くある。その問題の一つである～ン問題は戦争というものが起こらなかつたら、生じることのなかった問題であったということを理解した。しかし、戦争は今もなくならず、難民は絶えず発生している。  
・・・過去の難民との発生原因の違いは？  
ケルブレ・・・「ヨーロッパの内部は平穏な半世紀」・・・戦争はどこで？
8. ホロコーストの意味は、ナチス・ドイツがユダヤ人などに対して組織的に行った大量虐殺をさすと思うのですが、ナチス・ドイツがロシアでロシア人に対して行った虐殺もこのように呼ばれるのか？、疑問に思った。・・・No.
9. ミュンヘンがヒトラーが活動をスタートした地だとは知りませんでした。・・・今でもドイツはWWIIにおけるナチスに関する展示を作り続けるわけは、二度と同じ過ちを繰り返し手はならないということがあると思いますが、今の世代の人々が過去をすべて背負っているイメージがあり、とても暗いイメージがあります。しかし、それを背負い、責任感が強烈にあるものも、現在さまざまところから難民がドイツに押し寄せており、現実問題は本当に難しいものと思います。・・・移民問題では、・・・ドイツ人のケアも必要なのではないかと考えます。・・・「その声が強くなり、メルケル首相・政権・与党も軌道修正・・・トルコからの無制限の難民を抑制する措置など。
10. 世界史で大学受験をしましたが、覚えることが多くてうんざり？してしまい、あまり詰められません。この講義で「暗記」としての世界史ではなく、興味を持って学べたらな、と思います。